

台湾におけるホームレスの貧困

芒草心自立支援中心

Homeless Taiwanの支援対象者を例に

社団法人台湾芒草心慈善協会

李盈姿 2017.10.14

2016年台湾の低所得世帯-世帯数と人口

- ▶ 2016年第3四半期現在、台湾の低所得**世帯数**は143,635世帯で、台湾の全世帯数の1.68%を占める
- ▶ 2015年末時点における台湾の低所得世帯**人口**は328,336人で、台湾の全人口の1.41%を占める

日本・韓国・香港・米国の低所得世帯人口比率は約15%~16%
台湾は低所得世帯人口比率が世界で最も低いレベル

貧困のタイプ^o

- ▶ **従来型貧困** - 社会的弱者の貧困
- ▶ **新貧困階級** - 職業や賃金収入があるが、仕事が不安定、生活費・教育費が増大して負担できない、または家庭内に世話を要する社会的弱者がいることにより困窮

台湾の既存社会福祉政策では捕捉されない
福祉の身分をもたない人々

しかし、社会福祉のセーフティネットワーク
から排除された人々は
経済状態が低所得世帯より悪いことも...
the homeless

- 低所得世帯の審査制度では
 1. 親族の扶養義務
 2. 仮想所得
 3. 住民登録地を理由に排除されてしまう

Homelessになった理由

構造的要因

負担可能な住居が不足

廉価な賃貸住宅や社会住宅の不足

福祉の供給不足

社会福祉の不足や厳しい資格

雇用機会が少ない

労働力需要の海外流出・産業構造の変換・不景気

その他

自然災害・都市再開発・戦争

個人的要因

経済的要因

失業・低賃金・負債

心身の要因

疾病・心身の障害...

人間関係の破綻

家庭不和や生計維持者の死亡

その他

アルコール薬物依存・出所者・性的指向...



ホームレスや路上生活者と聞いて浮かぶのは...

#なまけ者

#クレクレ

#努力しない

#治安上の不安

#汚らしい

#自由が好き

『日がなゴロゴロ、努力もしないでタダで社会リソースに頼ろうとしている。こうなるのも自業自得では？』

#なまけ者

#クレクレ

#努力しない

84%

浮浪期間に
働いていた

01

92%

月収
10,000元
未満

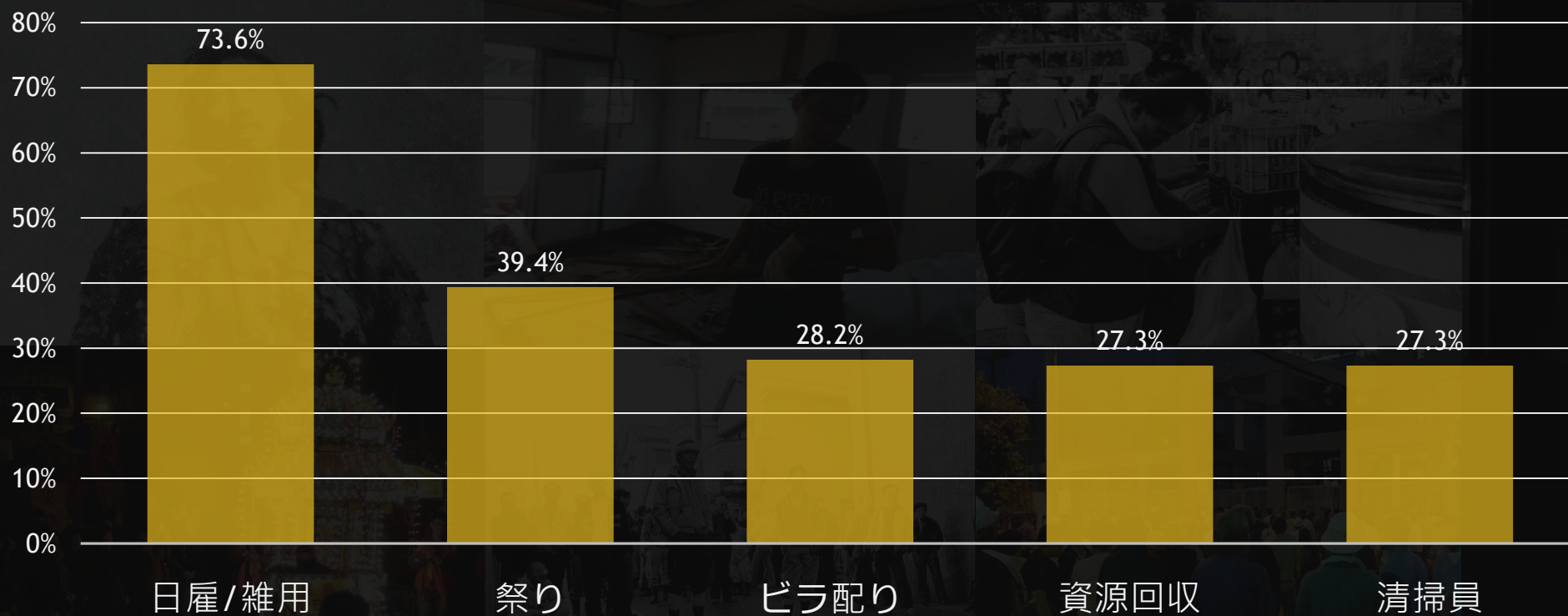
02

\$5,426

平均月収

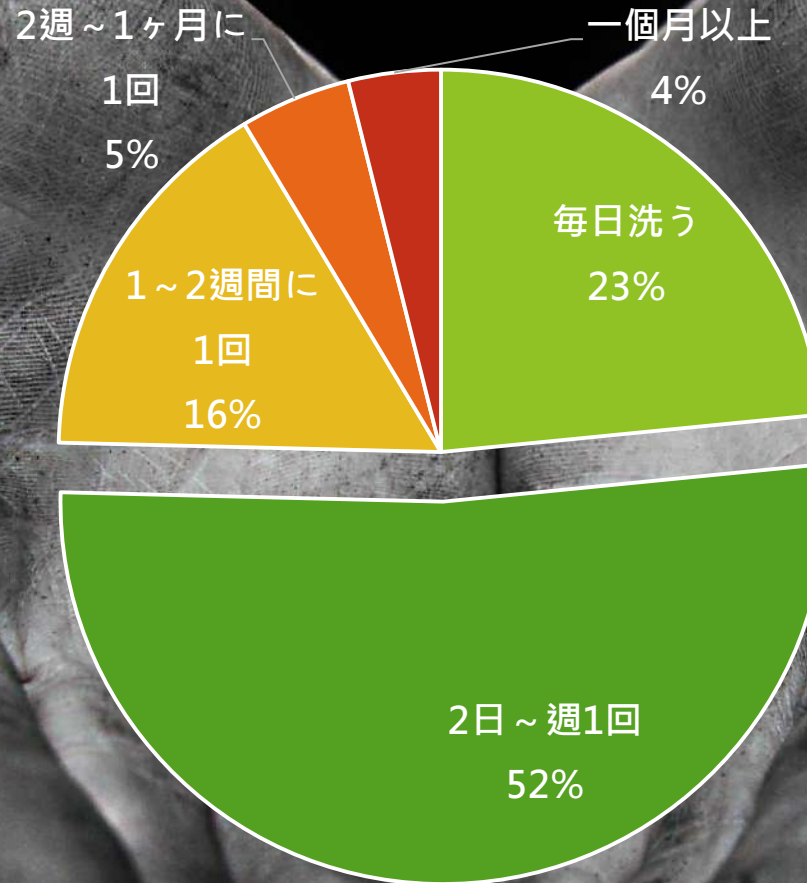
03

浮浪期間に働いていた



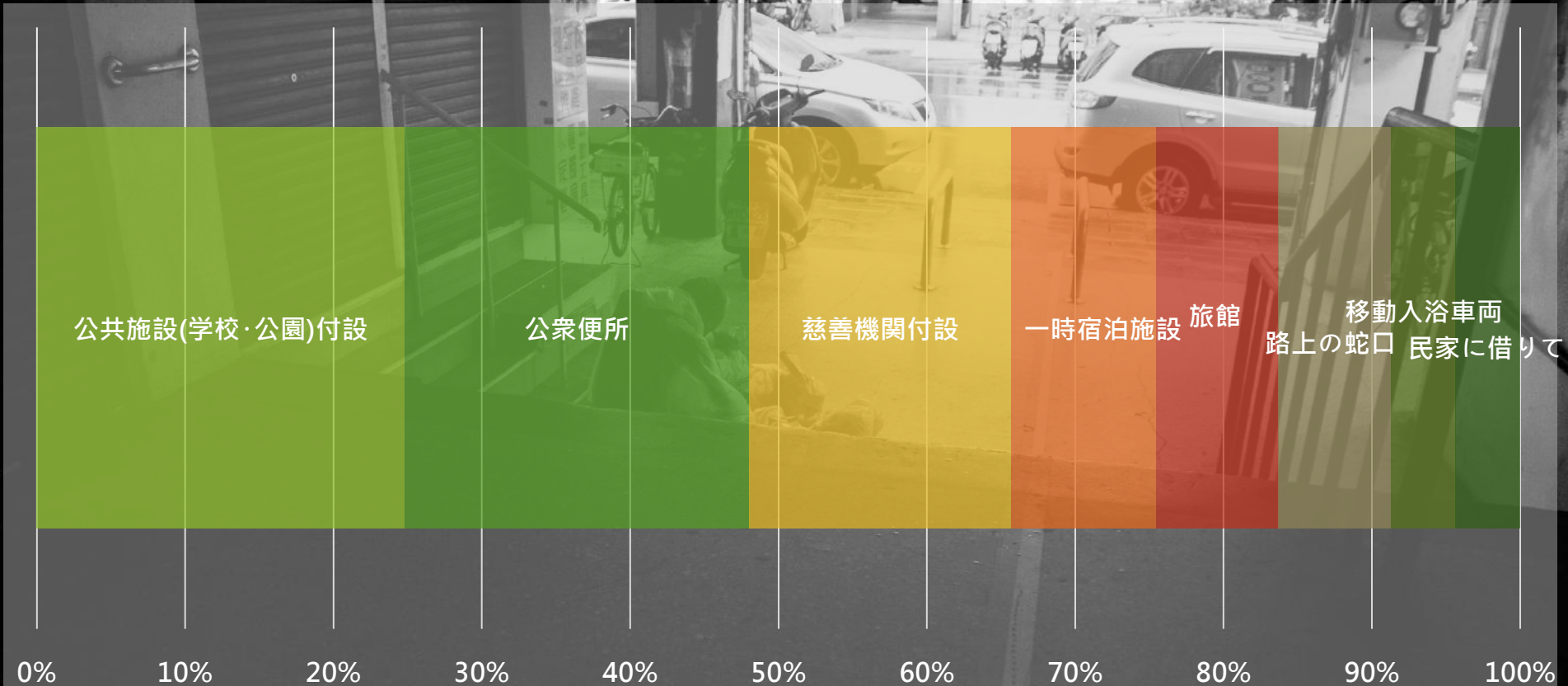
『風呂にも入らず臭くて汚い?』

#汚らしい



入浴施設がないなか、清潔にしようとしている
ホームレスの**75%**が週に1回は体を洗っている。25%は毎日洗うよう努めている。

どこで体を洗う？



社会福祉団体が入浴施設を提供しているが、利用時間は勤務時間に限られ、働くホームレスは利用したくてもできない

調査では、ホームレスの **14.8%** が少ない収入からひねり出して旅館で風呂を使っていた。

『自由が好きだから、シェルターに入所しない？』

#自由が好き

台北市のホーム
レス人口は？

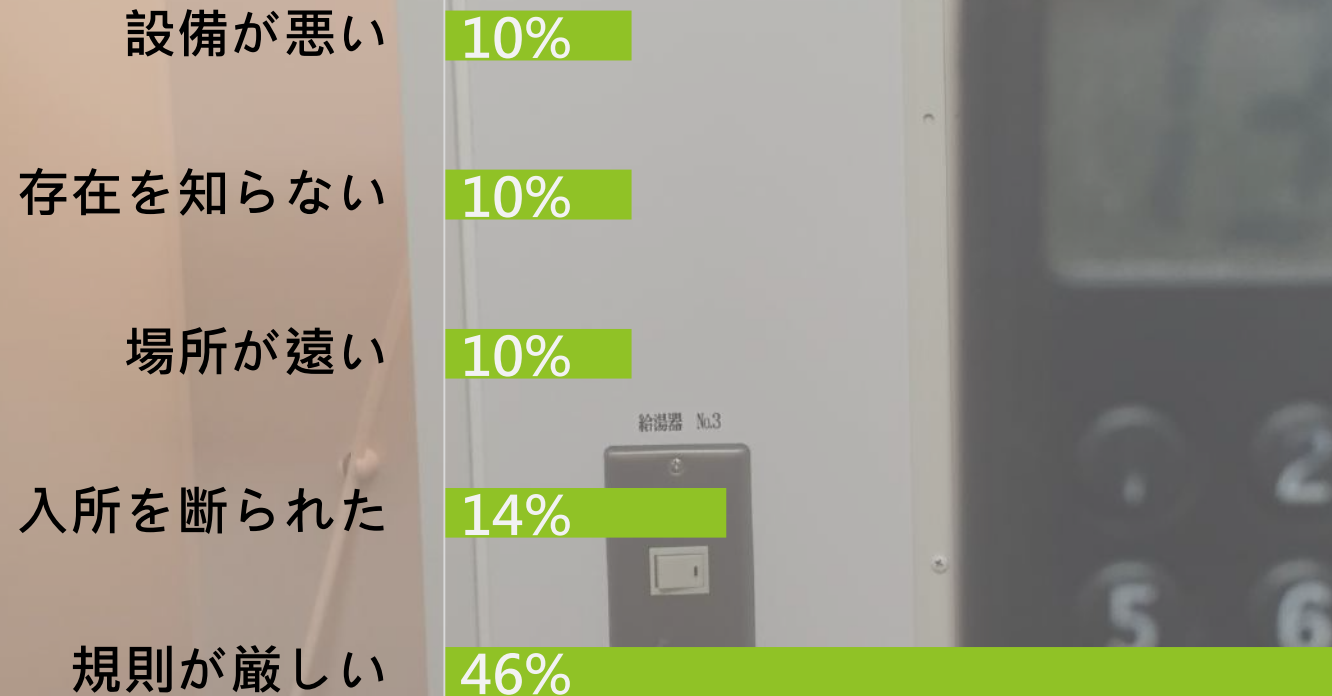
700~800

台北市のベッド数は？

200

数が
合わない

入所しない理由

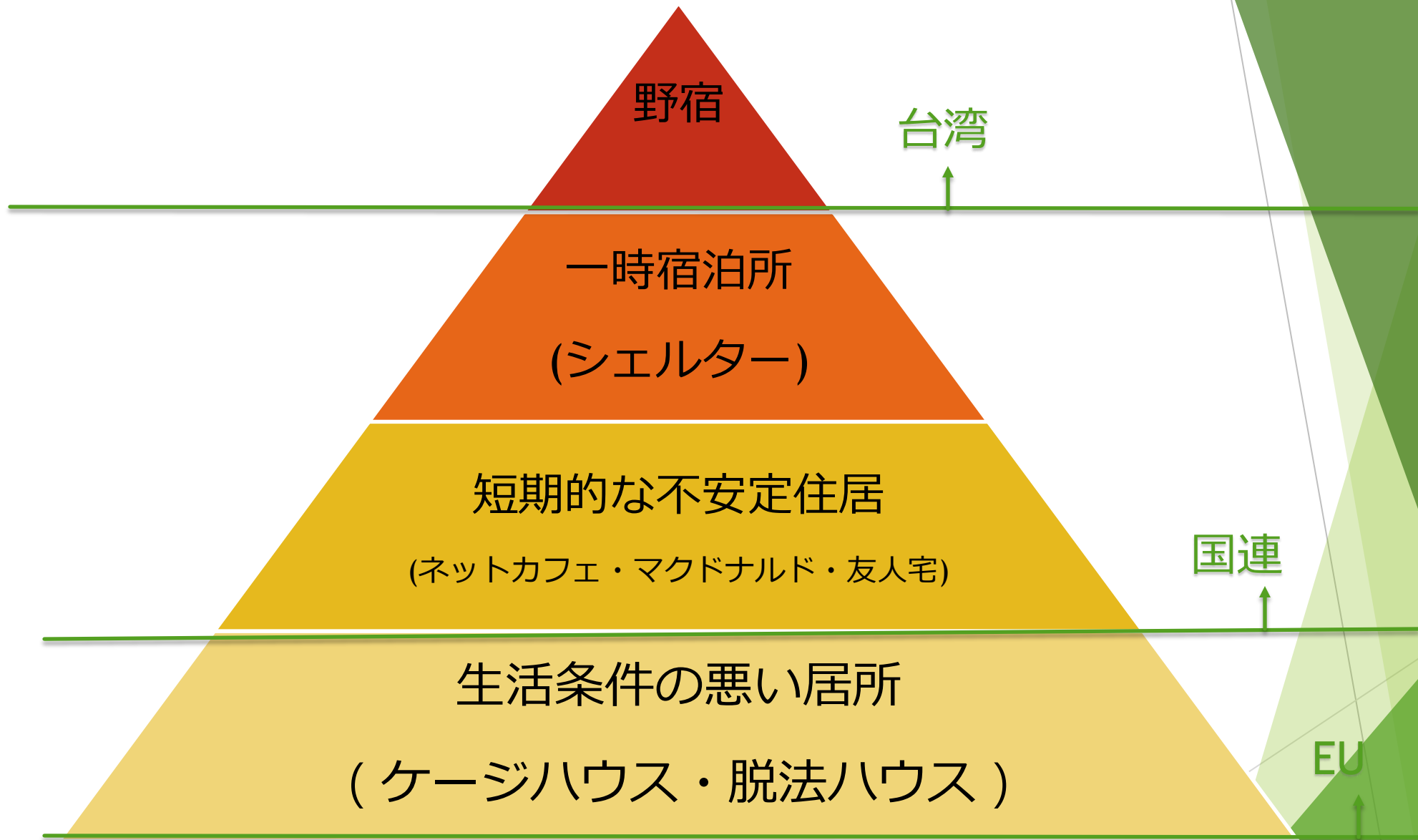


ホームレスの **8 割弱** が家を買うか借りるかして自分で住みたいと願

い、
9 割以上が雨風をしのげる場所が欲しいと願っている。大部分のホームレスが今は路上で生活しているが、落ち着ける家を切望している。

ホームレス人口の推移







芒草心の道筋

国際交流
分野統合

2011
芒草心創設

2014
ホームレス
課題と実践

2015
貧困
課題と実践



芒草心のホームレス支援

- ▶ ホームレスの自立支援だけでなく

芒草心
弱者自律
支援ネット
ワーク

OPEN DOORS
ホームレス自立力
養成と行動による
発言多角的プロ
ジェクト

- ▶ アクセスしやすい方法で、
社会と対話を

ホームレス
アウト
リーチ

ホームレス
支援従事者
ワーク
ショップ

自立支援
施設

芒草心
弱者自立
支援ネット
ワーク

自立者
フォロー
アップ

家作り
工房

賃貸代理

OPEN DOORS

自立力養成と行動による主張 多角的プロジェクト

ヒューマン
ライブラリー

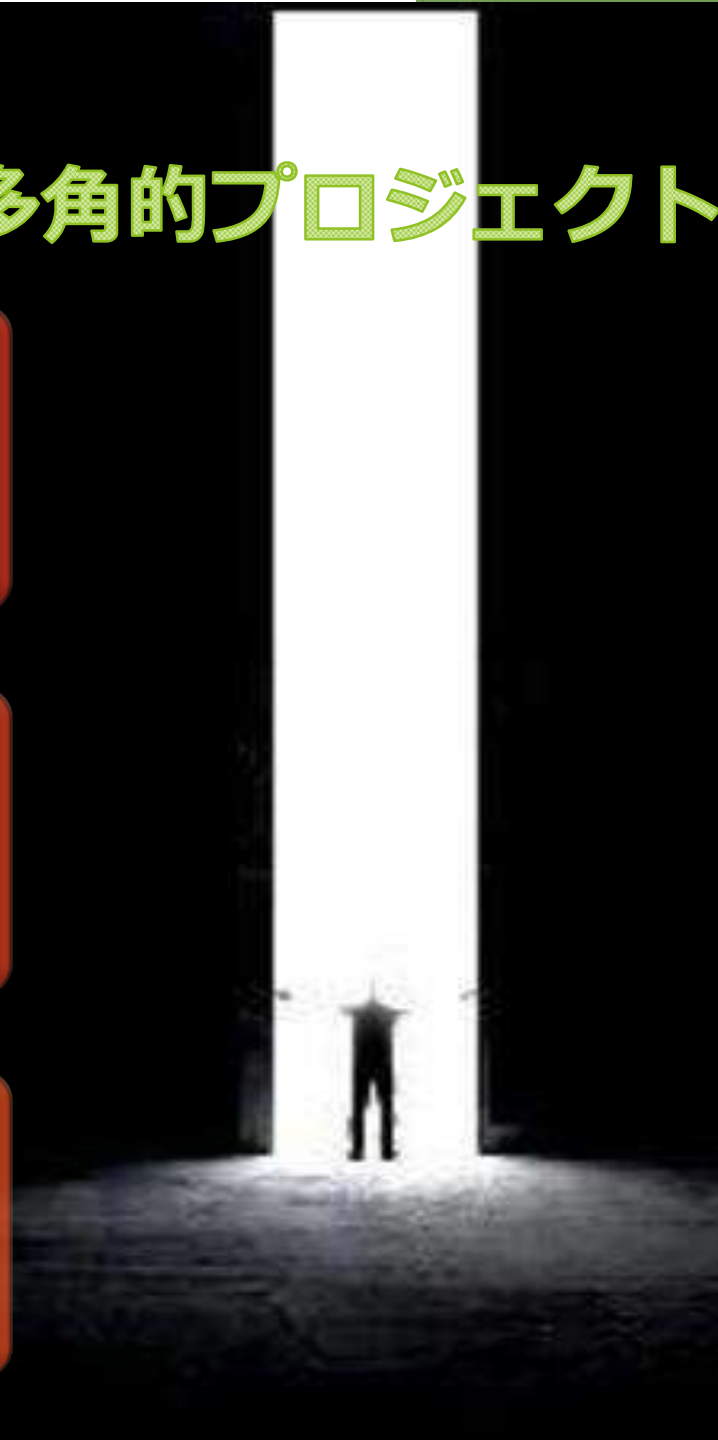
貧困者の
権利主張活動

地域住民と
囲む食卓

貧困体験キャンプ?

ホームレス/支援者
書籍

街ガイド
街遊



芒草心ホームレス支援経験からわかった

貧困の原因

- ▶ 疾病 vs 貧困(貧病循環) 
- ▶ 居住 vs 貧困(住所不定が人に与える悪影響)
- ▶ 失業 vs 貧困(下等労働市場に転落・非正規労働)
- ▶ 債務 vs 貧困(学資ローン・カード債務・罰金・健保未納…)
- ▶ 社会福祉 vs 貧困(救済体系の閾と排除)

既存社会福祉政策は**どの貧困原因に対応できる？**

芒草心自立支援センターの住民の債務概況

- ▶ 7割が債務を抱える
- ▶ 債務の種類- 学資ローン・消費貸借・カード債務・保証人引受・民間貸借(ヤミ金)・身内ローン・その他(名義貸し税金未納・交通違反反則金)
- ▶ 債務に向き合い処理するのは1割強、多くが逃避を選択

債務が自立支援センター住民に引き起こす影響

- ▶ 莫大な債務は絶望感を生み、将来の計画を失う
- ▶ 信用維持のために小額を返済し、また借りる
- ▶ 財務プランの進行の妨げに（いくらあっても金は足りないもの）
- ▶ 債権者が来たり賃金に強制執行されるのを恐れ、労働保険・健康保険の加入を自ら放棄
- ▶ 6割近い住民が賃金の振込みを選択できず、現金で受け取る仕事しかできない。時には減給も。
- ▶ 社会とのつながりを失う

自立支援センターの支援事業

一、居住安定支援	● 住居賃借サポートと助成申請 ● 収容期間延長による家賃プレッシャー軽減
二、社会福祉申請支援	● 高齢者・身体障害・低所得
三、支持的・保護的な就労 機会の提供	● 既存の就労サービス系統を利用した雇用機会の マッチング ● 地域での労働・機関での労働 ● 地域で柔軟な就労機会を開発 ● 多彩な養成プラン(修繕クラス・ガイド養成コース等)
四、法律・債務の問題の積 極的処理	● 心理コンサルタントの導入により、法律・債務問題 に前向きになれる ● 法律扶助関係機関への紹介で、債務協議と処理 を促進 ● 財務管理講座と口座プロジェクト

ホームレスの困窮に対する芒草心の努力

- ▶ 保護と支援
- ▶ 自立の過程に様々な形で寄り添う
- ▶ 社会への主張
- ▶ 社会との緩やかな対話

ご清聴ありがとうございます